

山田日之出ガス リスクアセスメント No.1

山田日之出ガス(株) 本社充填所

タンクローリ受入作業

【想定されるリスクシナリオ】

- (1)タンクローリから貯槽への充填作業をしている。
- (2)受入終了後、作業者が手順を間違えて先に車止めを外してしまった。
運転手は作業が終了したと勘違いして受入ホースを接続したままエンジンをかけて発信した
- (3)受入ホースと先端のカップリングが破損し、液が噴出する。
- (4)カップリングとアスファルトが擦れて火花が発生し、着火、爆発炎上する。

【潜在するリスクの見積もり】

- (1)事故の発生確率:1(10年に1回程度発生)
- (2)事故の重篤度:IV(致命的:一千万円以上の損害)
- (3)該当するリスクに×をする

【潜在するリスクの程度】

今回の場合は、黄色(中リスク)なので速やかに低減措置を講ずることが必要となる。

【リスク低減処置の内容検討】

予防策として以下が提案された。

- (1)貯槽への受入作業を開始する前に、充填所は運転手に「受入中」朱書きボードを渡す。
- (2)貯槽への受入作業中は、「受入中」朱書きボードをローリのハンドルの上に置き受入中だと認識させる。
- (3)受入作業が完了し安全確認をしたのち、充填所の作業員が運転手から「受入中」のボードを回収する。

【リスク低減策実施後に存在するリスク】

- (1)事故の発生確率:0(考えられない)⇒事故の発生確率が1から0に低減
- (2)事故の重篤度:IV(致命的:一千万円以上の損害)
予防策を講じたことから貯槽への受入作業に存在するリスクは「中リスク」から「低リスク」になった。

【低減措置の実施と結果の関係者への周知】

- (1)リスクアセスメントの結果を関係者に指示し、リスク低減措置状況を報告させることとした。
- (2)事業所内にリスクアセスメントの結果を掲示した。

事故の発生確率	4					
	3					
	2					
	1					×
	0					○
		0	I	II	III	IV
		事故の重篤度				

【事故の発生確率】

- 0:考えられない
1:まず起こりえない(10年に1回程度の発生が考えられる)
2:起こりそうにない(数年に1回程度の発生が考えられる)
3:時々発生する(1年に1回程度の発生が考えられる)
4:しばしば発生する(1月に1回程度の発生が考えられる)

【事故の重篤度】

- 0:損害なし
I:軽微(～10万程度の損害)
II:中程度(10万～100万程度の損害)
III:重大(100万～1000万程度の損害)
IV:致命的(1000万以上の損害)